

## 青の革命と水のガバナンス」 研究グループ

日本学術振興会 人文・社会科学振興プロジェクト  
「青の革命と水のガバナンス」研究グループ

グループリーダー

東京大学愛知演習林 蔵治 光一郎

## 「青の革命と水のガバナンス」 研究グループの目的

- 地域の新たな水ガバナンス実現のためには、水に関する人文・社会科学や自然科学を現場の文脈に沿って学融合的に結集・再編していくが必要になる。
- 本研究グループは、具体的な水系の諸問題における紛争や住民参加の事例研究を通じて、このような問題解決型の学術の結集・再編を進め、
- そのことにより国内や世界の水問題の実態と本質を把握し、「知の組み換え」を行いつつ、問題の解決に学術として寄与していくことを目指している。

## 目指している成果は何か

- 水系の政治・経済・社会問題の実態を把握する(データベース)
- 水系の社会問題の解決に寄与する学術のあり方を示す(研究会、シンポジウム)
- 学問分野ごとでなく水系ごとに学術を束ねる(流域圏学会、ネットワーク支援)
- 情報発信(メーリングリスト ホームページ、出版)
- 社会提言

## 研究班

- 2005年度 流域委員会研究プロジェクト
- 2006年度 「研究班」体制
  - 第1班 流域委員会(継続)
  - 第2班 沿岸域管理、内水面・海域漁業
  - 第3班 森林環境税
  - 第4班 基本高水・基本方針検討小委員会
  - 第5班 ダム撤去・ダム反対運動団体

## データベース

- 2003年度 河川管理者・市民団体
- 2004年度  
流域委員会、水源林、水源基金、漁民の森
- 2006年度 (構想中)  
基本高水、流況、森林環境税、ダム反対運動、  
ダム撤去

## 研究会・シンポジウム

- 第1～14回の研究会 参加者のべ331名(第12回まで)
- 国際シンポジウム 北タイ・ピン川上流域における森林・村落・水のマルチスケール・ガバナンス」2005年3月
- 国内シンポジウム共催 緑のダム」2004年1月、2006年1月など
- 国内ワークショップ共催 森林認証と森林管理・木材利用」2006年4月など

## 研究者のネットワーク

- 青の革命メーリングリスト 参加者249名
- 流域圏学会の立ち上げ  
不知火海 球磨川流域圏学会  
2005年10月立ち上げ
- 2006年5月第1回総会・研究発表会  
現在、会員メーリングリスト81名  
学会誌の発行支援

## 情報発信、社会提言

- 出版 BRP (青の革命Publication) 第1～4号発行  
No. 1 北タイ・ピン川上流域における森林・村落・水のマルチスケール・ガバナンス 蔵治光一郎・Kowit Punyatrang編 (英語)
- No. 2 河川再生手段の検討 - 高知県物部川における流域保全活動を事例として - 川中麻衣
- No. 3 流域圏ガバナンスの全国比較研究 - 森・川・海の更なる連携の模索 - 五名美江
- No. 4 流域委員会研究 流域委員会プロジェクトメンバー
- 社会提言 2006年1月 吉野川(水系)流域委員会の新規設置に際しての提言